

第3版（2019年版）の改訂概要

第3章 性能

3.3 断熱計画

- ・CLTパネルの熱伝導率が公的に定められた。また、ヒートブリッジの考え方と計算例を示した。

第4章 防耐火の設計施工

- ・「1時間耐火」の告示仕様（平成12年建設省告示第1399号）が定められた。これをCLTに用いるため、各部位ごとに図解した。
- ・図・表を全体的にわかりやすくするため、見直し整理を行った。

第5章 接合

- ・燃えしろ設計に対応するため、「挿入型」のCLTパネル工法用接合金物を開発し、 χ マーク表示金物に加えた。
- ・床のCLTパネル接合において合理化を図るため、合板による接合方法を開発した。

目 次

第1章 CLT 建築物	1・1
1.1 CLT 建築物の沿革	1・1
1.1.1 海外における沿革	1・1
1.1.2 国内における沿革	1・4
1.2 CLT パネル工法の特徴	1・10
1.2.1 CLT パネル工法の構造形式	1・10
1.2.2 CLT 建築物の長所、特徴	1・14
1.2.3 他構造との混構造	1・16
1.3 意匠・構造計画	1・18
1.3.1 意匠計画	1・18
1.3.2 構造計画	1・22
1.4 実例紹介	1・27
1.4.1 海外事例	1・27
1.4.2 国内事例	1・33
第2章 CLT の材料特性	2・1
2.1 CLT の定義	2・1
2.1.1 適用の範囲	2・1
2.1.2 定義	2・1
2.1.3 各部名称の定義	2・2
2.1.4 用語の定義	2・3
2.1.5 ラミナの品質	2・4
2.1.6 CLT パネルの構成	2・4
2.1.7 使用環境と接着剤	2・5
2.1.8 ラミナの構成	2・5
2.2 CLT パネルの製造	2・6
2.2.1 ラミナに使える樹種	2・6
2.2.2 CLT パネルの製造工程	2・6
2.2.3 検査及び試験	2・11
2.3 CLT パネルの加工	2・12
2.3.1 成形加工	2・12
2.3.2 仕口加工	2・13
2.3.3 CLT パネル用加工機	2・14
2.3.4 CLT パネルサイズの制約	2・15
2.3.5 ボルト類の標準孔あけ径	2・15
2.3.6 その他の留意点	2・16

2.3.7 製品・加工寸法、外観検査	2 - 16
2.3.8 養生塗装・梱包・保管	2 - 17
第3章 性能	3 - 1 - 1
3.1 設計・施工の考え方	3 - 1 - 1
3.1.1 CLT 構造	3 - 1 - 1
3.1.2 各部位の説明	3 - 1 - 2
3.1.3 CLT に求められる性能と仕様	3 - 1 - 7
3.1.4 CLT 工法の課題	3 - 1 - 9
3.2 耐久性	3 - 2 - 1
3.2.1 耐久性確保の留意点	3 - 2 - 1
3.2.2 材料の耐久性を確保するための措置	3 - 2 - 6
3.2.3 防水措置	3 - 2 - 11
3.2.4 結露対策	3 - 2 - 32
3.2.5 点検方法・維持保全	3 - 2 - 33
3.3 断熱計画	3 - 3 - 1
3.3.1 断熱・気密・防露計画の考え方	3 - 3 - 1
3.3.2 標準施工例	3 - 3 - 24
3.3.3 CLT パネルを下地材、化粧材として用いる場合	3 - 3 - 29
3.3.4 CLT 物性値（参考値）	3 - 3 - 29
3.4 遮音	3 - 4 - 1
3.4.1 遮音設計	3 - 4 - 1
3.4.2 CLT を用いた床版の床衝撃音遮断性能	3 - 4 - 9
3.4.3 CLT を用いた壁の空気音遮断性能	3 - 4 - 21
3.4.4 施工上の留意点と参考仕様例	3 - 4 - 30
3.5 歩行振動	3 - 5 - 1
3.5.1 歩行振動とは	3 - 5 - 1
3.5.2 歩行振動評価	3 - 5 - 3
3.5.3 実物件の床 CLT スパンと歩行振動評価	3 - 5 - 6
3.5.4 歩行振動が懸念される場合の予防対応策	3 - 5 - 15

第4章 防耐火の設計施工	4・1
4.1 防火・準耐火構造(被覆型・燃えしろ)・耐火構造の告示仕様の解説	4・2
4.1.1 防火構造(平12年建告第1359号)	4・3
4.1.2 準耐火構造(45分:平12年建告第1358号、1時間:平27年国交告第253号)	4・4
4.1.3 耐火構造(1時間:平12年建告第1399号)	4・33
4.2 国土交通大臣認定仕様の解説	4・40
4.2.1 防火構造 外壁認定仕様	4・40
4.2.2 耐火構造 外壁認定仕様	4・43
4.2.3 耐火構造 間仕切壁認定仕様	4・44
4.3 防火・準耐火・耐火構造 各部詳細解説	4・45
4.3.1 開口部	4・45
4.3.2 貫通部(配管・配線)	4・53
4.3.3 コンセントボックス等	4・56
4.3.4 パルコニー	4・62
4.3.5 燃えしろと防火被覆の取り合い(出隅・入隅部・連続壁部)	4・65
4.3.6 屋根開口(トップライト)	4・66
4.3.7 天井点検口	4・68
第5章 接合	5・1
5.1 CLTパネル工法における接合部の概要	5・1
5.2 告示で要求される接合部の性能	5・2
5.3 ルート1に対応した接合部の強度性能	5・3
5.4 χ (クロス)マーク表示金物	5・5
5.5 χ マーク表示金物の種類と配置	5・6
5.6 χ マーク表示金物の表面処理	5・12
5.7 CLTパネル工法における接合部試験・評価方法及び接合部データ等	5・12
5.8 構造用合板張りを行う水平構面仕様	5・12
第6章 施工	6・1
6.1 施工計画・見積	6・1
6.1.1 施工計画の概要	6・1
6.1.2 施工計画	6・1
6.1.3 見積・発注	6・2
6.1.4 工程計画	6・8
6.1.5 品質管理計画書の作成	6・10
6.1.6 輸送計画	6・10
6.1.7 受け入れ検査	6・12
6.1.8 建て入れ検査	6・12

6.2 建て方	6 - 14
6.2.1 建て方計画	6 - 14
6.2.2 アンカーボルトの設置と精度確保	6 - 24
6.2.3 建て方	6 - 28
6.2.4 建て方精度・書類	6 - 39
6.3 CLTパネル現し仕上げにおける電気配線	6 - 42
6.3.1 電気配線を考慮した CLT パネル現し仕上げによる内装イメージ（推奨）	6 - 42
6.3.2 電気配線の例	6 - 43
6.3.3 電気配線計画の例	6 - 44
6.3.4 CLT パネルへの埋め込み配線例	6 - 46
6.3.5 CLT パネルのその他の配線例（露出配管）	6 - 49

関連資料